

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 31 日現在

機関番号：40124
 研究種目：基盤 C
 研究期間：H20～H24
 課題番号：20520149
 研究課題名（和文） 注釈・小津安二郎全固有名詞

研究課題名（英文）

研究代表者 中澤千磨夫
 （ ）

研究者番号：10198062

研究分野：

科研費の分科・細目：

キーワード：小津安二郎・小津・映画・日本映画・映画史・映像論・日本文化・大衆芸術

1. 研究計画の概要

日本を代表する映画監督・小津安二郎（1903—63年）は、世界の映画シーン・文化シーンにおいて多大な影響を与え続けている。その小津安二郎が残した全54作品の映像・脚本から固有名詞のすべてと一部の一般名詞を抽出し、注釈を付す。

2. 研究の進捗状況

本研究の成果として、別掲雑誌論文3件を発表している。研究代表者の先行論文（「痙攣するデジャ・ヴュービデオで読む小津安二郎—①小津安二郎作品地名・人名稿（戦後モノクロ映画編）」、『北海道武蔵女子短期大学紀要』、第39号、1—77、2007年、査読無）による成果とあわせ、既に1、732項目を掲出し注釈を加えた。

研究方法は、映像と脚本を精読し、項目を抽出する作業に始まり、必要に応じ、臨地研究や関係者への聞き取り調査を経て、注釈を付すというものである。

小津安二郎はショットの一枚一枚を絵画と意識して映画を制作した作家であり、細部に漫然と置かれたかに見える小物ひとつにさえ、気を配っていたのである。従来の研究では見逃されがちであった地名・人名等の固有名詞などを多数掲出したことにより、本研究の成果を基礎に作品論の大幅な深化・発展が期待される。

例えば一例。『浮草』（1959年）の相生座二階楽屋。『毎日グラフ』の表紙2種類が貼られている。その一枚がデビューまもないザ・ピーナッツ。劇中の台詞にも「南京豆」が登場し、小津映画の連鎖として、『風の中の牝鶏』（1948年）、『お茶漬の味』（1952年）など多くの作品へ繋がっていく。もちろん、小津自身の戦争体験へと繋がるわけ

で、小さな固有名詞ひとつから作品の読みが深まっていくことの好例である。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。全54作品のうち、29作品の注釈を完了しているので、おおむね順調と言える。

4. 今後の研究の推進方策

研究終了期限までに、全54作品の注釈を完了し、あわせて既発表分につき補訂を行う。また、完成後出版の予定。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 3件）

- ① 中澤千磨夫「痙攣するデジャ・ヴュービデオで読む小津安二郎—②小津安二郎作品地名・人名稿（カラー映画編Ⅰ）」、『北海道武蔵女子短期大学紀要』、第41号、1—53、2009年、査読無
- ② 中澤千磨夫「痙攣するデジャ・ヴュービデオで読む小津安二郎—③小津安二郎作品地名・人名稿（カラー映画編Ⅱ完）」、『北海道武蔵女子短期大学紀要』、第42号、1—48、2010年、査読無
- ③ 中澤千磨夫「痙攣するデジャ・ヴュービデオで読む小津安二郎—④小津安二郎作品地名・人名稿（無声映画編Ⅰ）」、『北海道武蔵女子短期大学紀要』、第43号、1—52、2011年、査読無

〔学会発表〕（計 件）

〔図書〕（計 件）

〔産業財産権〕

○出願状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕